

成分名	ポリオキシエチレン(42)ポリオキシプロピレン(67)グリコール
英 名	Polyoxyethylene(42) Polyoxypropylene(67) Glycol
CAS No.	9003-11-6
収載公定書	薬添規 EP NF
A TOXNET DATABASE	https://chem.nlm.nih.gov/chemidplus/rn/9003-11-6

投与経路	用途
一般外用剤	安定(化)剤、可溶(化)剤
歯科外用及び口中用	

該当文献なし。

- 単回投与試験
- 反復投与試験
- 遺伝毒性
- 癌原性
- 生殖発生毒性
- その他の毒性
- ヒトにおける知見

■ 局所刺激性

ウサギに4つのPoloxamer 25%w/wPoloxamer238、25%w/wPoloxamer335、25%w/wPoloxamer403、25%w/wPoloxamer407を注入することによって起こる筋肉毒性を注入後機能の時間的経過として筋肉組織の巨大な形態学的試験クレアチンホスホキナーゼ(CPK)をとおして単回および反復投与で調査した。Poloxamerの脂肪親和性が大きければ大きいほど、注入後にできた病変は重篤となり、血漿CPKの上昇は大きくなった。Poloxamer407とPoloxamer238は賦形薬として受入れられるが、Poloxamer335とPoloxamer403は受入れられない¹⁾。(Johnston TP, et al., 1985)

引用文献

1) Johnston TP, Miller SC. Toxicological evaluation of poloxamer vehicles for intramuscular use. Bull. Parenter. Drug Assoc. 1985; 39: 83-89